

製品名: SURFYNOL® 104

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: SURFYNOL® 104

製造業者/輸入業者/販売業者情報

会社名 : エボニック・ジャパン株式会社
東京都新宿区西新宿二丁目3番1号

電話番号 : +81 3 5323 7300

FAX番号 : +81 3 5323 7399

電子メールアドレス : chemical-compliance-japan@evonik.com

緊急連絡電話番号:

24時間緊急連絡先 : +81 3 6630 4535 (月-金、9:00~17:00)
+81 3 4578 9341 (上記以外の時間帯)

推奨される用途: 工業用途

使用上の制限: 知見なし。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類:

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1
皮膚感作性 区分 1B

環境有害性

水生環境有害性 短期 (急性) 区分 3
水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示:

製品名: SURFYNOL® 104



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 重篤な眼の損傷。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

安全対策: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置: 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。特別な処置が必要である（このラベルの補足的な応急処置の説明を見よ）。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

廃棄: 内容物および包装の廃棄については、認定施設において地域、地方、国、および国際基準に従って行うこと。

GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:
なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要
データなし。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学名: アセチレンジオール

危険有害成分:

化学名又は一般名	CAS番号	ISHL	ENCS	含有率のパーセント (%) *
2, 4, 7, 9-テトラメチル-5-デシン-4, 7-ジオール	126-86-3	(2)-263	(2)-263	>99.9%

* ガス以外の成分は重量パーセントで示す。ガスの濃度は容量パーセントで示す。

製品名: SURFYNOL® 104

4. 応急措置

必要な応急処置

- 一般情報:** 直ちに汚染された衣服を脱ぐこと。
- 吸入した場合:** 新鮮な空気を供給する。気分が悪い場合は医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合:** 皮膚に接触した場合、石鹼と多量の水で洗い流すこと。不快感がある場合：医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合:** 直ちに多量の水で洗い、医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合:** 水で口をすすぐこと。不快感がある場合：医師の診察を受けること。
- 応急措置をする者の保護:** データなし

急性症状および遅発症状の最も重要な徴候症状

- 症状:** 眼に重篤な損傷を与えるリスクがある。
- 危険:** データなし

直ちに必要な医療および特別な処置

- 処置:** 症状にあった治療を施す。

5. 火災時の措置

適切な（および不適切な）消火剤

- 適切な消火剤:** 泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、水噴霧

- 使ってはならない消火剤:** 大容量ウォータージェット

- 物質または混合物に起因する特有の危険有害性:** 火災時には、次の物質が発生するおそれ：一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド類。特定の条件下で他の有毒物質が微量に放出されるおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

- 特有の消火方法:** 着火源から遠ざけること。静電気放電に対する措置を講ずること。粉じんは空気と混合すると爆発性混合物を作ることがある。危険にさらされた容器を水噴霧で冷やすこと。
- 消防士のための特別な保護具:** 爆発性または引火性ガスを吸い込まないこと。自給式呼吸器と保護衣を着用すること。

製品名: SURFYNOL® 104

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	個人用保護具を使用する。粉じんの発生を避ける。
封じ込めと洗浄の方法および材料:	物理的に回収すること。廃棄物および回収に使用した用具は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
環境に対する注意事項:	排水設備、水系に流入させないこと。下層土/土壌への製品の侵入を防ぐこと。
二次災害の防止策:	データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）:	データなし
安全取扱注意事項:	換気を十分に行うこと。（必要に応じて局所排気を用いること。）粉じんの発生、堆積を防ぐこと。粉じん、ヒューム、エアロゾルを吸い込まないこと。皮膚および眼との接触を避けること。
接触回避:	10 項を参照。

保管

安全な保管条件:	容器を密閉し、涼しく換気の良い場所に保管する。酸、アルカリと一緒に保管しないこと。酸化剤と一緒に保管しないこと。
安全な容器包装材料:	データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

暴露限界値 製品:

暴露限界が指定されている成分は無い。

生物学的許容値

成分の生物学的暴露限界値は指摘されていない。

製品名: SURFYNOL® 104

個人用保護措置

眼/顔面の保護具:	密着性の高い安全ゴーグル
手の保護具:	補足情報: クロロプレン手袋, ニトリル手袋
皮膚及び身体の保護具:	適切な保護衣
呼吸用保護具:	蒸気、エアロゾルが発生する場合: 短時間に限る: フィルター P1
衛生対策:	休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。取扱中は飲食禁止および禁煙。 直ちに汚染された衣服を脱ぐこと。保護クリームを使用すること。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理的及び化学的性質に関する情報****外観**

物理状態:	固体
形状:	ワックス
色:	白
臭い:	メンソール様
臭いの閾値:	未測定
融点:	54 - 55 ° C (OECD テストガイドライン 102)
沸点:	262 ° C (1, 013 hPa) (OECD テストガイドライン 103)
可燃性:	未測定
燃焼又は爆発限界の上限/下限	
爆発限界—上限:	未測定
爆発限界—下限:	未測定
引火点:	170 ° C
自然発火点:	380 ° C (1, 015 hPa)
分解温度:	未測定
pH:	未測定
粘度 (粘性率)	
動粘度:	未測定
動粘性率:	未測定
浮遊時間:	データなし
溶解度	
溶解度 (水):	1.7 g/l (20 ° C, OECD 105)
溶解度 (その他):	未測定
n-オクタノール/水分配係数:	2.8 (OECD 117)
蒸気圧:	0.0062 hPa (20 ° C) (OECD 104)
比重:	未測定
密度:	0.882 g/cm ³ (25 ° C)

製品名: SURFYNOL® 104

かさ密度: データなし
蒸気密度 (Air=1): 未測定

粒子特性

粒子径: データなし
粒度分布: データなし
比表面積: データなし
表面電荷/ゼータ電位: データなし
形状: データなし
結晶化度: データなし
表面処理: データなし

その他の情報

爆発性: 未測定
酸化能力: 酸化性ではない。
最低点火温度: 未測定
金属腐食: 金属腐食しない。
蒸発速度: 未測定
表面張力: 32.7 mN/m, 0.1, 20 ° C

10. 安定性及び反応性

反応性: 危険有害反応可能性の項を参照。
化学的安定性: 通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性: 適切な保管および使用条件では危険な反応は起きない。
避けるべき条件: 適切な保管および使用条件では、特になし。
混触危険物質: 酸化剤。 酸 アルカリ
危険有害な分解生成物: 適切な保管および使用条件では、特になし。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

製品: LD 50 (ラット): > 5,000 mg/kg

経皮

製品: LD 50 (ウサギ) > 5,000 mg/kg (OECD 402)

吸入した場合

製品: LC 50 (ラット, 1 h) > 20 mg/l 粉じん、ミストおよびヒューム

製品名: SURFYNOL® 104

反復投与毒性

製品: NOAEL - 無毒性量 (ラット, 経口, 毎日): 500 mg/kg (OECD 407)

皮膚腐食性/刺激性:

製品: 刺激しない
OECD 404 (ウサギ, 4 h): 刺激しない

成分:

2, 4, 7, 9-テトラ
ラメチル-5-デシン
-4, 7-ジオール
OECD 404 (ウサギ, 4 h): 刺激しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:

製品: 眼に重篤な損傷を与えるリスクがある。
TSCA 40 CFR Subpart E, 798.4500 (ウサギ): 眼に重篤な損傷を与えるリスクがある。

成分:

2, 4, 7, 9-テトラ
ラメチル-5-デシン
-4, 7-ジオール
US-EPA-法 (ウサギ): 眼に重篤な損傷を与えるリスクがある。

呼吸器感受性又は皮膚感受性:

製品: 皮膚感受性
局所リンパ節試験 (LLNA), OECD 429 (マウス): 皮膚感受性

成分:

2, 4, 7, 9-テトラ
ラメチル-5-デシン
-4, 7-ジオール
局所リンパ節試験 (LLNA), OECD 429 (マウス): 皮膚感受性

発がん性

製品: データなし

生殖細胞変異原性

In vitro

製品: Ames 試験 (OECD 471): 陰性 自社試験
染色体異常 (OECD 473): 陰性 自社試験
遺伝子突然変異試験 (OECD 476): 陰性 自社試験

In vivo

製品: データなし

成分:

2, 4, 7, 9-テトラ
メチル-5-デシン-
4, 7-ジオール
データなし

生殖毒性

製品: データなし 経口

製品名: SURFYNOL® 104

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品: データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

製品: データなし

誤えん有害性

製品: 区分に該当しない

その他の影響:

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 短期 (急性)

魚類

製品: LC 50 (コイ科, 96 h (OECD 203)): 36 mg/l
LC 50 (Cyprinus carpio (コイ), 96 h (OECD 203)): 42 mg/l
区分 3

水生無脊椎動物

製品: EC50 (オオミジンコ, 48 h (OECD 202)): 88 mg/l
区分 3

水生植物毒性

製品: EC50 (淡水産緑藻 (Pseudokirchneriella subcapitata), 72 h): 15 mg/l
(OECD 201) ErC50 (淡水産緑藻 (Pseudokirchneriella subcapitata), 72 h): 82 mg/l (OECD 201)

成分:

2, 4, 7, 9-テトラメチル-5-デシン-4, 7-ジオール EC50 (淡水産緑藻 (Pseudokirchneriella subcapitata), 72 h): 15 mg/l
(OECD 201) ErC50 (淡水産緑藻 (Pseudokirchneriella subcapitata), 72 h): 82 mg/l (OECD 201) 区分 3

微生物に対する毒性

製品: EC50 (活性汚泥, 3 h): 630 mg/l

成分

2, 4, 7, 9-テトラメチル-5-デシン-4, 7-ジオール EC50 (活性汚泥, 3 h): 約 630 mg/l (OECD 209)

水生環境有害性 長期 (慢性)

魚類

製品: データなし

製品名: SURFYNOL® 104

区分 3

水生無脊椎動物

製品: データなし
区分 3

水生植物毒性

製品: データなし

成分:

2, 4, 7, 9-テトラ 区分 3
メチル-5-デシン-
4, 7-ジオール

残留性・分解性

生物分解

製品: 5 % (28 d, OECD 301 B) 易分解性ではない。
8 - 12 % (60 d, OECD 301 B) 易分解性ではない。
25.4 % (57 d, OECD 302 A) 易分解性ではない。

BOD/COD比

製品: データなし

生態蓄積性

生物濃縮因子 (BCF)

製品: データなし

n-オクタノール/水分配係数 (log Kow)

製品: Log Kow: 2.8 22 ° C (OECD 117) Yes

土壤中の移動性:

製品: データなし

成分:

2, 4, 7, 9-テトラ データなし
メチル-5-デシン-
4, 7-ジオール

オゾン層への有害性:

規制されない

その他の情報:

土壌、水系、排水設備に流入させないこと。

13. 廃棄上の注意

製品名: SURFYNOL® 104

残余廃棄物: 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。廃棄においては、関連法規及び地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体がその処理を行っている場合には当該業者又は団体に委託して処理すること。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。

汚染容器及び包装: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

第一類特定化学物質:

規制されない

第二類特定化学物質:

規制されない

第三類特定化学物質:

規制されない

有機則

第一種有機溶剤:

規制されない

第二種有機溶剤:

規制されない

製品名: SURFYNOL® 104

第三種有機溶剤:
規制されない

鉛中毒予防規則:
規制されない

四アルキル鉛中毒予防規則:
規制されない

通知対象物:
規制されない

表示対象物:
規制されない

変異原性が認められた新規届出化学物質:
規制されない

変異原性が認められた既存化学物質:
規制されない

がん原性が認められた化学物質:
規制されない

労働安全衛生法 施行令 別表第 1 (危険物):
規制されない

毒物及び劇物取締法

特定毒物:
法:
規制されない
政令:
規制されない

毒物:
法:
規制されない
政令:
規制されない

劇物:
法:
規制されない
政令:
規制されない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
特定化学物質、監視化学物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法

製品名: SURFYNOL® 104

特定第一種指定化学物質:
規制されない

第一種指定化学物質:
規制されない

第二種指定化学物質:
規制されない

消防法:
指定可燃物（可燃性固体類）

高圧ガス保安法:
規制されない

16. その他の情報

その他の情報

こちらが最新版 SDS になります。このバージョンを以前のバージョンと差し替えて下さい。

この製品安全データシートに記載されている情報は、改訂日において弊社が入手できた情報であり、法令の改正又は新しい知見に基づいて改訂されることがあります。この情報は、当製品についていかなる保証をするものでもありません。この情報は、当製品のみを対象とするものであり、当製品が他の物質等と組合せて使用される場合を対象とするものではありません。この情報は、当製品の通常の取扱いを対象とするものであり、使用者の特別な用途に対する適合性、安全性等については弊社の管理外の事項となりますので使用者自身の責任においてご判断下さい。